

東京デンタルフェスティバル2020 in 北区

令和2年12月6日(日)「東京デンタルフェスティバル(TDF)2020 in 北区」が開催されました。2015年から始まり今年で6回目を迎えますが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、初めてオンラインライブ配信での開催となりました。

「感染症予防と口腔ケア ～セルフケアとプロフェッショナルケアの重要性～」というテーマで、本会と公益社団法人東京都北歯科医師会、公益社団法人東京都滝野川歯科医師会、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社が主催となり、共催に東京都、また後援に北区、公益社団法人日本歯科医師会、東京都歯科健康保険組合、公益社団法人東京都歯科衛生士会、一般社団法人東京都歯科技工士会、公益社団法人東京都栄養士会、そして東京海上日動火災保険(株)、損保保険ジャパン(株)に協賛をいただきました。

今回は、講演会とシンポジウム形式のみでの開催で、例年のような展示や実演はありませんでした。視聴する場合の段取りとして、事前に予約をする必要があり、開催日前日には事務局からメールが入って当日視聴できるかの動作確認がありました。当日は午後2時から開会でしたが、5分前にライブ配信が開始されました。1,300件の申し込みがあり、当日の視聴は1,000件程度でした。

フリーアナウンサーの小林奈々絵氏による司会進行のもと、主催者として阪柳敏春東京都歯科医師会副会長、日吉賢次東京都北歯科医師会会長、後援者として花川與惣太東京都北区長の挨拶があり、シッド・シン グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社代表取締役社長による企業紹介動画が流されました。

その後、講演会に移り、総合内科専門医、法務省矯正局医師、作家のおおたわ史絵先生により「感染予防の簡単な基礎知識」という演題で、今や新型コロナ流行下で最も興味深いお話を手作りのフリップを用いて、楽しくわかりやすく解説していただきました。先生はテレビにもよくご出演されていますが、今回はあまり報道されていないコロナにかかりやすい性別や血液型など、いくつかの国や大学による調査結果もお話いただきました。



オンラインでの会場風景

続いて、日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授 植田耕一郎先生に「感染予防のための口腔ケア ～長生きは唾液で決まる～」をご講演いただきました。病気は自然治癒力が破綻した状態であり、ウイルスに対しては免疫力を高めるしかないと述べられていました。そのためには呼吸や手振り運動、手のひらで体を叩く叩打法が有効で、口腔ケアのほか口ストレッチ、唾液腺マッサージも自律神経のバランスが整い自然治癒力が向上する手段だとお話いただきました。

その後、東京都衛生士会、東京都技工士会から紹介画がありました。

後半はシンポジウムで、講師のお二方と高品和哉東京都歯科医師会公衆衛生担当理事、日吉賢次東京都北歯科医師会会長、大多和 実東京都滝野川歯科医師会会長の5名のシンポジストにより、事前に視聴者から寄せられた質問に回答されていました。

初めてのオンラインライブ配信でしたが、特に問題となることもなく、予定していた2時間のTDFは無事に終了しました。来年度はコロナも終息し、いつも通り参加型のTDFが開催されることを願っております。

最後に変則的な形での開催になったにも関わらず、運営に携わられた関係各位に心より御礼申し上げます。

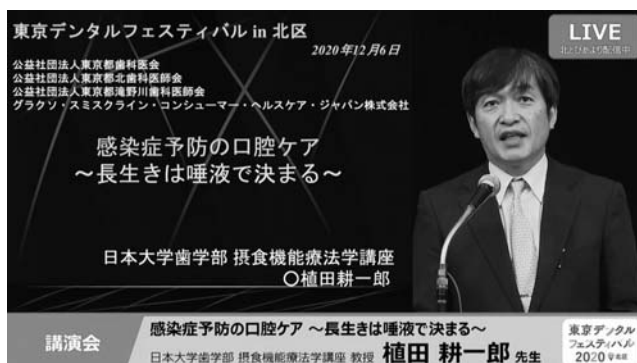
広報常任委員会委員

オンライン担当：中村泰規



講演会 感染予防の簡単な基礎知識
総合内科専門医、法務省矯正局医師、作家 おおたわ 史絵 先生
東京デンタルフェスティバル 2020 開催

総合内科専門医、法務省矯正局医師、作家
おおたわ史絵氏による講演



講演会 感染症予防の口腔ケア ~長生きは唾液で決まる~
日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎 先生
東京デンタルフェスティバル 2020 開催

日本大学歯学部摂食機能療法学講座
植田耕一郎教授による講演

今回は、取材も、自宅パソコン組と会場組との二手に分かれての取材になりました。毎年会場での開催では、開始時間になると入り口には、たくさんのお客様が並んでいて、今か今かと大騒ぎになっていますが、今年は、会場である「北とびあ」の受付に二人の受付嬢と、会場担当者の数人がいるだけの、とても寂しい会場入り口でした。受付で検温とアルコール消毒を済ませ控室に行くまでの間には、所どころに扇風機による換気が行われ、各所テーブルの上にはアルコール消毒が置かれ、感染予防対策は万全に行われていました。

例年ですと、会場ホワイエにて、主催者である北歯科医師会と滝野川歯科医師会がブースを出し、歯科相談、唾液検査、口腔がん相談などを区民に提供したり、グラクソ・スミスクライン社がブースにて取扱製品説明をしたり、また、後援していただいている、東京都歯科衛生士会、東京都歯科技工士会、東京都栄養士会の方々が、それぞれの専門分野のお話を、区民の方々にわかりやすく、そして楽しくお話していただいているのが、今年は、まったく無しという、とても寂しい限りのホワイエでした。会場内に足を運ぶと、当然お客様はひとりもいないので、会場には、本会事務局担当者と、会場設置担当者の方々が十数人いるだけの寂しい会場でした。今回ライブ配信の申込者は、1,300人でしたが、この北とび

あの会場も、ピッタリ1,300人の定員でしたので、新型コロナウイルス感染症がなければ、超満員の大盛況東京デンタルフェスティバルになっていたかと思うと、とても残念でなりません。

当日は、オンライン LIVE 配信がメインになるので、我々会場での参加者は、各先生方の素晴らしい挨拶や、素晴らしいお話があっても、拍手をすることはできないという決め事がありました。ただつい、いつものようにお話に感動して、拍手をしそうになり、慌てて今日は拍手をすることはできないと、自分に言い聞かせていました。会場に人がいない分、今回どの程度の反響があるのかとてもわかりにくかったのですが、終了後、朝日新聞社の方々とお話ししていて、今回は1,300人の申込者があり、「1,000人程度の視聴は7割以上の視聴で、世間では大成功と言えます」と、言ってもらえたのはとてもうれしく思いました。最初で最後のオンライン LIVE 配信でのフェスティバルであってほしく、次回はいつも通り会場へ多くの区民の皆様をお招きし、盛大に行えることを願っております。初めての経験でご苦労された、関係者の皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

広報常任委員会委員長
会場担当：岡 和彦



シンポジウムの様子